



岡田 康司

樹木の害虫や 倒木リスクの未然防止

問 近年、近隣自治体で桜等に「クビアカツヤカミキリ」による倒木被害発生が拡大の傾向にある。本町はどのような認識、対応が問う。

答 府内や隣接する猪名川町や川西市でも被害が確認されているが、現在、本町では未確認であると認識している。年1回、大阪府からの調査依頼に基づき、10ヶ所以上で、1ヶ所あたり、5本以上見る内容で調査を行っている。

問 町民への発信等に努めていく。

答 道路パトロールや通報に基づき、現地確認を行い、所有者に対して、指導や助言を行う。

問 クビアカツヤカミキリの注意点をどのように周知・啓発する考えか問う。

答 当害虫の行動範囲が3kmであることから被害地域から3km圏内を目安に駆除及び防除対策、発見した場合の連絡先などを掲載した町のホームページを作成し、周知に努めたい。

問 本町も松枯れ（松くい虫被害）およびナラ枯れによる二次災害が危険されている。危険性が高い場所に対し、指導または支援しているか問う。

答 本町も松枯れ（松くい虫被害）およびナラ枯れによる二次災害が危険されている。危険性が高い場所に対し、指導または支援しているか問う。

問 町としてのどのような対策を講じるのか問う。

答 大阪府が策定した「大阪府クビアカツヤカミキリ防除推進計画」等に基づき、関係機関と連



一般質問



難波 希美子

① 町独自の節約要請 ② ゼロカーボントウン ③ 企業誘致

町独自の節約要請

問 原油由来の製品不足、価格高騰、混乱が生じている。住民福祉増進のために、節約要請や生活支援等を発信できないか問う。

答 可能であるが、不安をあおらないよう、国・府からの情報を得て広報を行うべきと考える。

問 住民生活の現場である市町村から声を上げ、国・府を動かそうとしな

答 本町としては、地球温暖化対策としての啓発はしたい。



ゼロカーボントウン

問 地球温暖化対策実行計画の達成見込みを問う。

答 暮らしの電力化率は既に目標達成であるが、EV車率は大幅な未達成である。

問 EV車購入助成をふるさと応援寄附金や環境基金でできないのか問う。

答 今は考えていない。

問 住民の意識向上のために気候市民会議を開催してどうか問う。

答 参加者負担や経費、人材確保が課題である。

気候市民会議
無作為選出の住民が気候変動について、一緒に学び議論し、行政に提案をする会議

企業誘致

問 まちづくり協議会は来年4月に約80%の同意をもって、土地区画整理準備組合に進む予定だが、その時点で連絡が取れない方がいたらどうするか問う。

答 約80%の同意を得られるまで前進を先送りするのか検討する。連絡が取れない方の扱いは、まちづくり協議会で検討する。

問 居住者補償では、今と同等の生活の維持は無

答 居住者は立退きたくもない。理不尽ではないか問う。

答 全国統一の補償基準があり、それに基づいて考えている。